

「令和3年度乳児保育研修会」 報告書

- 【期 日】 令和3年9月9日
【会 場】 ロイヤルチェスター佐賀
【主 催】 佐賀県保育会
【参加人数】 90名（集合18名・オンライン72名）
【内 容】 「今こそ大事・根っこの保育」

講師 相浦 雅子 氏（佐賀女子短期大学こども未来学科 教授）



「全国保育士会倫理綱領」一前文についてー

- ① **すべての子どもは** ② **豊かな愛情の中で心身ともに健やかに育てられ、**
③ **自ら伸びていく無限の可能性を持っています。**

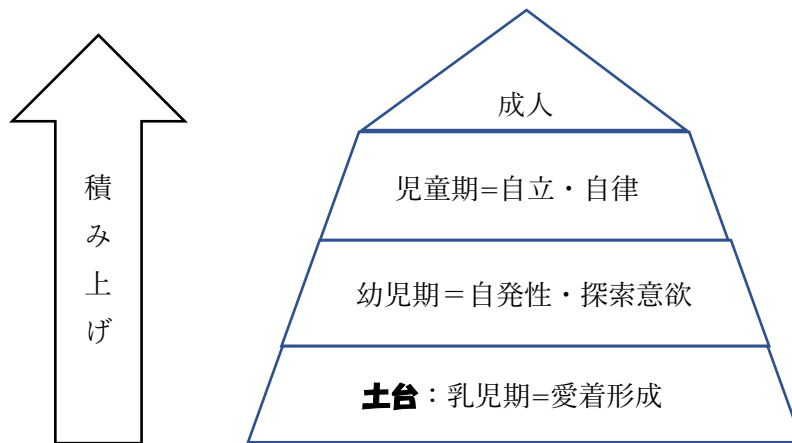
- ① 障がいの有無、年齢、出生状況、家庭環境、国籍 etc どのような状況の違いも関係ないすべての子ども
② 保護者に限らずその子の育ちに関わるすべての大人からの愛情により保障される心身の健全な育ち=子どもの権利
③ 子ども観、保育観の確認。その子の可能性はその子自身の中に秘められており、子どもは気づいていない。しかし、その子に適当な環境により可能性はぐんぐんと伸びていく

【演習1】

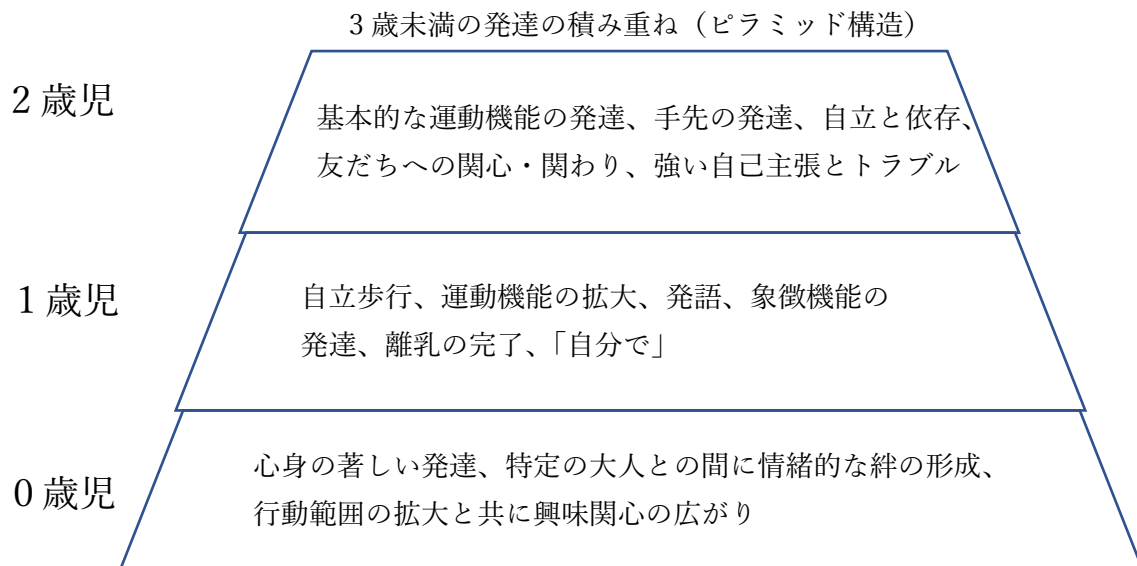
私たちは、①子どもが現在（いま）を幸せに生活し、②未来（あす）を生きる力を育てる保育の
③仕事に誇りと責任をもって、④自らの人間性と専門性の向上に努め、⑤一人ひとりの子どもを
心から尊重し、次のことを行います。

- ① “子どもが現在（いま）を幸せに生活”するとは、どのようなことか。
② “未来（あす）を生きる力”とは、どのような力か。
③ 保育職の“誇りと責任”とは、何か。
④ “人間性と専門性”とは何か。また、その“その向上に努め”る方法にはどのようなものがあるのか。
⑤ “一人ひとりの子どもを心から尊重”するとは、具体的な保育場面で考えるとどのようなことなのか。

人の育ち（ピラミッド構造）

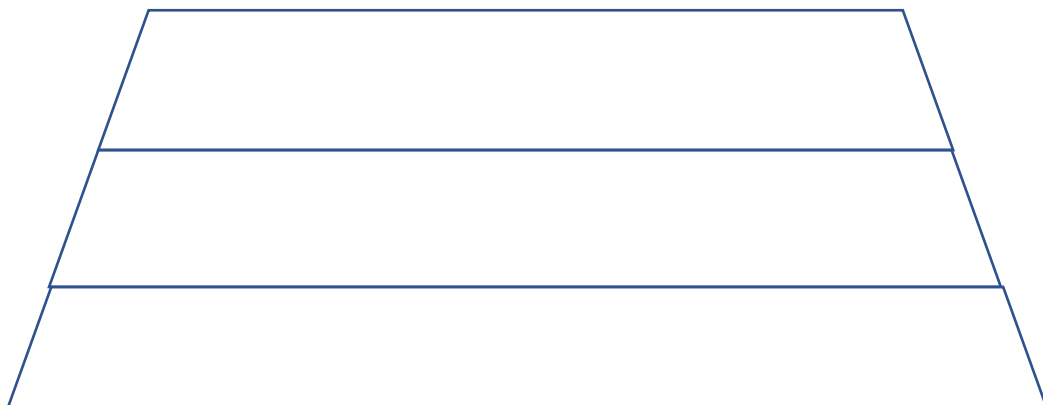


乳幼児期は、人間形成(人生)の基礎(土台)を培う重要な時期



【演習2】

0歳、1歳、2歳のあそびについて、年齢ごとに書いてみましょう。また、それらのあそびはどのような発達によりつながっているのか、線をつないでみましょう。



0歳児の保育内容

基本的事項

- ・生後1年間の著しい成長・発達がみられる。
- ・安全かつ衛生的で心地よい環境を準備する。
- ・乳児に応じた食事・排泄・睡眠・衣服の着脱・清潔などの基本的生活習慣を援助する。
- ・自発的あそびが十分に楽しめる援助を行う。
- ・乳児1人に対し、特定の保育者が関わることを重視する。(愛着形成、基本的信頼感の獲得)
- ・優しい語りかけと丁寧な応答的関わりを基本とする。

「ねらい及び内容」=3つの視点

《健やかに伸び伸びと育つ(身体的発達)》

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力の基礎を培う。

《身近な人と気持ちが通じ合う(社会的発達)》

受容的・応答的な関わりの中で、何かを伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育て、人と関わる力の基盤を培う。

《身近なものと関わり感性が育つ(精神的発達)》

身近な環境に興味や好奇心をもって関わり、感じたことや考えたことを表現する力の基盤を培う。

保育の実施に関わる配慮事項

- ・心身の機能が未熟であり疾病への抵抗力が弱いため、一人一人の発達・健康状態に対して保健的な対応を行う。
- ・子どもの生育歴の違いに留意する。
- ・特定の保育士が応答的にかかわる。
- ・職員間(保育士、栄養士、看護師)および嘱託医との連携を図る。
- ・保護者との信頼関係を構築し、相談などの支援を行う。
- ・担当保育士の変更時には、丁寧に十分な引継ぎを行う。
- ・個々への声かけを適切な音量で常に行う。
- ・関わりの中では、子どもの行為を丁寧に言語化する。
- ・子どもの視線を意識し、見られた時(合った時)には適切に応じる。

1歳以上3歳未満児の保育内容

基本的事項

- ・自立歩行ができるようになり、基本的運動機能や指先の動きが発達する。
- ・排泄の自立が確立しつつ、自分でできることが増える。
- ・語彙数が増え、言葉の理解も進み、意思や欲求を伝えられるようになる。
- ・他児の行為に興味を示し、関わり合ったりぶつかり合ったりする。
- ・トラブル時の適切な対応が必要となる。
- ・一人一人に今の思いを受け止めながら、丁寧に対応する。
- ・発達を考慮した意欲的に活動できる環境を整える。
- ・一人一人の興味関心を注視する。

ねらい及び内容

《健康》 《人間関係》 《環境》 《言葉》 《表現》 5領域の内容を踏まえて発達との関連

保育の実施に関わる配慮事項

- ・体の状況、機嫌、食欲など日常を十分に観察する。
- ・感染症等も含め、適切な判断に基づく保健的な対応を取る。
- ・探索活動が十分できる環境を整える。
- ・事故や危険防止に十分に配慮する。
- ・自我の芽生え・形成を意識し、自己主張を受け止める。
- ・自発的な活動を尊重し、共感することで意欲を促す。
- ・子どもの安心感や安定感に配慮する。
- ・担当保育士が変わる場合は、十分な引き継ぎをする。
- ・トラブル時の個々の思いの受け止めに十分にする。
- ・様々な場面における適当な言語化。

【演習3】

8カ月になったばかりのAちゃん。お座りの状態でおもちゃで遊んでいると、すぐ前に新しいガラガラがありました。Aちゃんは、いつものおもちゃを手にしたまま新しいガラガラをじーっと見えています。

- ① この時どう関わりますか。言葉を含め具体的に考えましょう。
- ② 気を付けることはどのようなことですか。
- ③ この場面やかかわりによって、Aちゃんのどのような育ちにつながるのでしょうか。

(報告・感想)

乳幼児期は人間形成（人生）の基礎・基盤（土台）を培う重要な時期であること、根っこが大事であること、0から積み上げていくことを大事に大事にしていくこと、本当に痛感致しました。保育者一人ひとりが常にいつも傍らに保育所保育指針（認定こども園教育保育要領）を持ち歩き、倫理綱領や保育指針の理解を深め、実際の保育現場に置き換えて…保育に取り組むことが大切であると思いました。また、園内研修において今回の研修会での演習を直ぐに取り組んでみたいと考えております。

(文責：大崎こども園 岩瀬貴子)